

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社中村緑地建設
代表者名	中村 寛孝
所在地	福岡市南区長住1丁目8番26号
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) -
業種	建設業
電話番号	092-541-1144
ホームページ	http://nakamura-ryokuchi.com

Well-being 向上 に向けた取組み	社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境を作ることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるように次のように行動します。		
	・育児休業期間中の代替要員の確保や業務内容、体制の見直し	・男性の育児休業取得の推進	・産前産後休業の育児休業、育児休業給付、育休中の社会保険料免除など制度の周知や情報提供をおこなう
アンケート実施	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社 中村緑地建設

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	会	経		SDG1	SDG2	SDG3	SDG4	SDG5	SDG6	SDG7	SDG8	SDG9	SDG10	SDG11	SDG12	SDG13	SDG14	SDG15	SDG16	SDG17
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	○	・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進している。 ・中高年者を積極的に採用している。 ・外国人に対して、多言語表記ややさしい日本語の使用、通訳の配置など、円滑なコミュニケーションを図るための取組みを実施している。					○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	○	・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入するなど、柔軟な勤務形態をとっている。 ・治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入している。					○	○	○										
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	○	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・人権問題やハラスメントの防止について研修を実施している。					○	○	○	○							○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	○	・長時間労働を是正するための具体的な取組みを行っている。 ・メンタルヘルスに関する研修を実施している。 ・不妊治療と仕事の両立支援を行っている。			○	○	○												
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	○	・研修の受講奨励や研究機関への派遣を行っている。 ・将来の人材育成を目的とした教育訓練制度がある。 ・若手や中途採用従業員向けにメンター制度を整備している。			○	○		○	○										
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・会議等において、使い捨て容器の利用を禁止している。 ・従業員のマイバッグやマイボトルの利用を推進している。			○		○			○	○	○							
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。 ・社員に公共交通機関による移動を呼び掛けている。					○			○		○	○						
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	・森林の保全活動、地域・河川・海岸の清掃など、生物多様性の保全に関する環境学習やイベント等を支援・実施している。 ・生物多様性に配慮した商品・サービスの取り扱いや、地産地消を推進している。					○					○	○	○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		○	・従業員への節水の呼びかけや節水型機器を設置するなどして、節水に努めている。 ・雨水貯留タンクの設置等により、雨水利用を行っている。						○			○								
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、相談センターの設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を聞いている。			○								○						
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して事業を推進している。 ・子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが使いやすいよう配慮した製品・サービスを提供している。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		○	・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。															○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		○	・法令遵守の重要性を従業員に発信している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。		○	○	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、共有している。										○	○					○	
公正な事業慣行・組織体制	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のにおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。											○	○	○	○	○	○	